

150のHistory

1980(昭和55)年～1984(昭和59)年

昭和から令和へ受け継がれる 健康づくりの精神

本校の長い歴史を振り返ると、今も昔も変わらず大切にしていることがあります。それは「子どもたちの健やかな心と体を育む」という想いです。

今からおよそ40年前の1984年、當麻小学校は奈良県教育委員会から「健康教育優秀校」として表彰を受けました。これは、当時の本校の取り組みが高く評価された証です。さらに、その年の3月には、子どもたちが体力づくりに励む様子がNHKで紹介されました。当時の記録によると、毎朝欠かさず駆け足をおこなうなど、学校全体で体力向上に取り組んでいたことがうかがえます。

同じ年には、奈良県で開催された「わかくさ国体」が行われました。この年、10月には當麻総合スポーツセンターにてバレーボール

競技が開催されました。

その開会式前、當麻小学校の6年生児童全員が、日頃の練習の成果を発揮し、見事な集団演技を披露しました。大勢の観客が見守る中、子どもたちは息の合った演技で会場を沸かせました。

時代が変わり、子どもたちの生活様式も変化しましたが、本校の体力づくり活動は健在です。現在は毎日ではありませんが、秋から冬にかけての「マラソン大会」に向けた駆け足や、目標に向かって練習を重ねる「なわとび集会」など、形を変えながら楽しみながら体力向上に取り組んでいます。

また、日々の体育の授業でも、子どもたちが体を動かす楽しさを感じながら、基礎的な運動能力を身につけられるよう、内容の充実を図っています。

航空写真

奈良県立図書館情報館のホームページに1981年時の當麻地区の航空写真が掲載されています。

